

GA-8IEX シリーズ
P4 Titan 533 マザーボード

ユーザーマニュアル

Pentium®4 プロセッサ マザーボード
改訂番号. 1201

目次

同梱物のチェックリスト	3
警告!	3
第1章 はじめに	4
製品の特長について	4
GA-8IEX シリーズ マザーボードのレイアウト	7
第2章 ハードウェアのインストール手順	8
ステップ1: CPUをインストールする	9
ステップ 1-1: CPU のインストール	9
ステップ 1-2: CPU ヒートシンクのインストール	10
ステップ2: メモリモジュールのインストール	11
ステップ3: 拡張カードのインストール	12
ステップ4: リボンケーブル、ケースワイヤー、電源の接続	13
ステップ4-1: I/O バックパネルについて	13
ステップ4-2: コネクタとジャンパーの設定について	15
第3章 BIOS の設定	23
メインメニュー	23
デュアルBIOS / Q-Flash ユーティリティ	23
言語の選択	23
負荷最適化のデフォルト	25
保存と終了の設定	26
第4章 ドライバのインストール	27

同梱物のチェックリスト

- | | |
|--|--|
| ☒ GA-8IEX シリーズのマザーボード | ☒ SPD-キット x 1 |
| ☒ IDE (ATA100)、FDD用各ケーブル x 1 | ☒ IEEE1394 ケーブル x 1 (**) |
| ☒ IDE (ATA133)ケーブル x 2(**) | ☒ I/O シールド |
| ☒ 4 ポート USB ケーブル x 1 | |
| ☒ マザーボード のドライバとユーティリティ 用 CD | |
| ☒ GA-8IEX シリーズのユーザーガイド | |
| ☒ クイック PC インストールガイド | |



警告!

コンピューターのマザーボードと拡張カードには、非常に繊細な IC チップが含まれています。チップを静電気の衝撃から保護するため、コンピューターで作業する際に次の点に注意してください。

1. コンピューター内部の作業を行う時は電源を抜いてから行ってください。
2. コンピューターを扱う際は、静電気防止用リストストラップ使用してください。
持っていない時は安全にアースが取られている物体、または電源ケースなどの金属物体に両手を触れてから作業してください。
3. 部品は端の部分を持つようにし、IC のチップ、先端、コネクタ、およびその他の部品に触れないように注意してください。
4. 部品をシステムから離す時は、必ず接地された静電気防止パッドまたは部品に添付されていた袋の上に置いてください。
5. 電源を入れる前に ATX 電源のスイッチが切るか、またはマザーボード上の ATX 電源コネクタを外しておいてください。

マザーボードをケースに設置する

マザーボードのマウント用の穴が基盤上の穴の位置と一致せずスペイサーにスロットが付いていない場合でも、マウント用の穴にスペーサーを取り付けることは可能ですのであわせてください。その場合はスペイサーの下部分を切り取ってください。(スペイサーを切り取りにくい場合、手を傷つけないように注意してください。)こうすればショートするのを心配せずにマザーボードを基盤に取り付けることができます。場合によっては、プラスチックのスプリングを使用してマザーボードのプリント基板表面からネジを分離する必要があります。これは回路が穴の周りに配線されているためです。プリント基板上の穴を固定する場所の近くにあるプリント回路のどの部分にもネジが触れないように注意してください。基盤の損傷または誤動作の原因になります。

* GA-8IEX のみ。 ** GA-8IEXP のみ。

第1章 はじめに

製品の特長について

フォームファクター	30.6cm x 24.4cm ATX フォームファクター、4 レイヤーPCB
マザーボード	GA-8IEX シリーズ マザーボード: GA-8IEX および GA-8IEXP
CPU	- Intel® Micro FC-PGA2 Pentium® 4 プロセッサ用Socket 478 - Intel Pentium®4 533MHz/400MHz FSB - Intel® Pentium® 4 (Northwood, 0.13μm) プロセッサをサポート - セカンドキャッシュは CPUによって異なる
チップセット	845E チップセットのホスト/AGP/コントローラー - ICH4 I/O コントローラーハブ
メモリ	184 ピン DDR DIMM ソケット 3 本 - PC2100 DDR または PC1600 DDR DIMM をサポート - 最大で 2GB DRAM までサポート 2.5V DDR DIMM のみサポート 64ビット ECC タイプのDRAM モードをサポート
I/O コントロール	IT8712
スロット	1 CNR(コミュニケーションおよびネットワークングライザー) スロット(**) 1 AGP スロット 4X (1.5V のみ) デバイスのサポート 6 PCI スロットで 33MHz & PCI 2.2 準拠をサポート
オンボード IDE	- Intel ICH4 PCI チップセット上のIDE コントローラ 2 枚で PIO と IDE HDD/CD-ROM (IDE1, IDE2)およびバスマスター (Ultra DMA33/ATA66/ATA100) 操作モードを使用可能。 - RAID、Ultra ATA133/100互換のIDE3 および IDE4。(**)
他のオンボード機能	1 つのフロッピーポートで 360K、720K、1.2M、1.44M、および 2.88M バイトのFDD を 2 つサポート。 1 つの平行ポートで ノーマル/EPP/ECP モードをサポート。 - シリアルポート (COMA & COMB) 1 つ 6 x USB 2.0/1.1 (2 x 後部、ケーブル使用時4 x前部) - IR/CIR用の IrDA コネクタ 1 つ - 前面オーディオ コネクタ 1 つ - IEEE1394 コネクタ 3 つ(**)

後ページに続く

** GA-8IEXP のみ。

ハードウェアの監視	• CPU/電源/システム ファン回転の検知 • CPU/電源/システム ファン制御 • CPU オーバーヒート 警告 • システム電圧の検知
オンボード サウンド	• Creative CT5880 Sound チップセット、Sigmatel 9708T CODEC(**) • ライン出力 / 2 前面スピーカー • ライン入力 / 2 背面スピーカー(ソフトウェアで切替) • Micイン: Mic • SPDIF 出力 : ソフトウェアで切替
オンボード RAID (**)	• Promise PDC20276 搭載 • データストリップ (RAID 0) またはミラーリング (RAID 1) をサポート • サポート 同時デュアル ATA133 IDE コントローラー操作をサポート • CD ROM、DVD ROM などの ATAPI モードをサポート • IDE バスマスター操作をサポート • BIOS による ATA133/RAID モード 切替をサポート • ミラーリングによる自動バックグラウンド再構築をサポート • LBA とコントローラーオンボード BIOS 内の拡張中断による 13ドライブの変換機能搭載
オンボード LAN	• Intel 82562ET LAN PHY
オンボード USB 2.0	• ICH4 チップセット 内蔵
オンボード 1394(**)	• VT6306 チップセット 内蔵(**)
オンボード MS(**)、SD(MMC)(**)	• Winbond SMART I/O チップセット (メモリースティック、Security Digital および SC ヘッド)
PS/2 コネクタ	• キーボードおよびマウスのPS/2 用インターフェイス
BIOS	• ライセンス済 AWARD BIOS、4M ビット x 2 FWH (**) • ライセンス済 AWARD BIOS、3M ビット x 2 FWH (*) • デュアル BIOS のサポート • 他言語サポート • フェイス ウィザードのサポート • Q-Flash のサポート
その他の機能	• パスワードによる PS/2 キーボード電源入力

後ページに続く

* GA-8IEX のみ。 ** GA-8IEXP のみ。

- PS/2 マウスによる電源入力
- 外部モデムウェイクアップ
- STR(RAM へのサスペンド機能)
- Wake on LAN (WOL)(**)
- AC リカバリー
- 過電流保護のためのキーボード用ポリヒューズ
- S3 からの USB キーボード/マウスウェイクアップ
- @BIOS のサポート
- EasyTune 4 のサポート

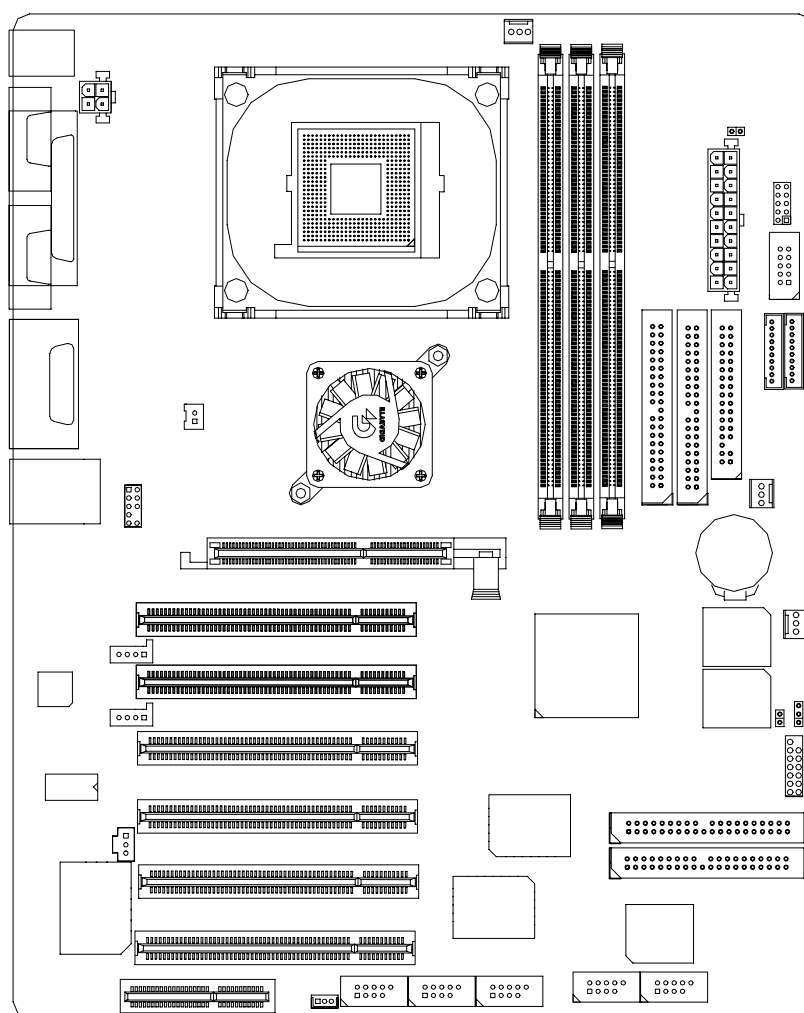
オーバークロック	• BIOS による過剰電圧 (DDR/AGP/CPU) • BIOS によるオーバークロック (CPU/DDR/AGP)
----------	---



CPU ホストの周波数は、ご使用のプロセッサの使用に従って設定してください。バスの周波数を CPU の使用以上に設定することは、特定のバス周波数が CPU、チップセットおよびその他のほとんどの周辺機器の標準仕様ではないためお勧めできません。そのような特定のバス周波数でシステムが正常に動作するかどうかは、CPU、チップセット、SDRAM、各種カードなどのハードウェアに依存します。

*** GA-8IEX のみ。 ** GA-8IEXP のみ。**

GA-8IEX シリーズ マザーボードのレイアウト



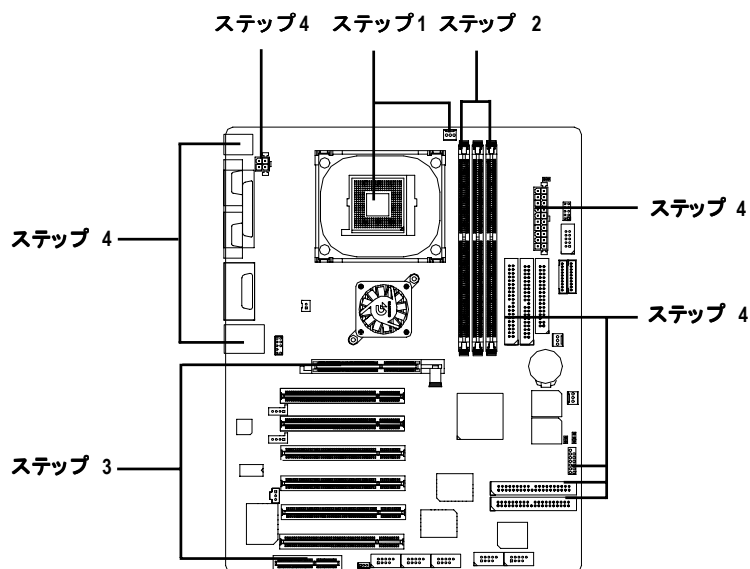
日本語

* GA-8IEX のみ。 ** GA-8IEXP のみ。

第2章 ハードウェアのインストール手順

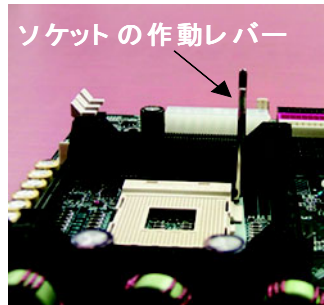
以下のステップにしたがってコンピュータのセットアップを行います。

- ステップ1-CPU のインストール
- ステップ2-メモリモジュールのインストール
- ステップ3-拡張カードのインストール
- ステップ4-リボンケーブル、キャビネットワイヤー、および電源の接続
- ステップ5-BIOS ソフトウェアの設定
- ステップ6-サポートソフトウェアツールのインストール



ステップ 1: CPU をインストールする

ステップ 1-1 CPU のインストール



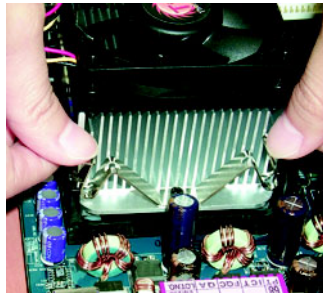
1. CPUソケットのレバーを90度の角度まで引き上げます。
3. CPUソケットのレバーを元の位置に押し戻してCPUのインストールを完了します。



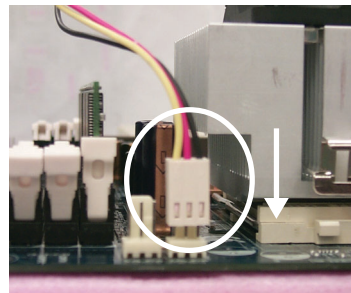
2. ソケットのピン1を見つけて、CPUの上部の端にある切り角(金色)を探します。次に、ソケットにCPUを差し込みます。

- ※ ご使用の CPU が本マザーボードでサポートされているか確認してください。
- ※ CPU ソケットのピン1とCPUとの切り角がうまく合わないと適切にインストールできません。切り角が合わない場合は挿入の向きを変えて見てください。

ステップ 1-2 : CPU ヒートシンクのインストール



1. ヒートシンクの支持部分を、マザーボード上の CPU ソケットにしっかり固定します。



2. CPU ファンが CPU ファンのコネクタにしっかり差し込まれていることを確認してインストールは完了です。

- ※ 冷却ファンは、Intel 社が推奨する製品をお使いください。
- ※ ご使用の CPU とヒートシンクの間をより好ましい状態にするため、サーマルテープの適用を推奨します。
(CPU の冷却ファンは、サーマルペーストが固まることが原因で CPU にくっついてしまうことがあります。その状態で冷却ファンを外そうとすると、冷却ファンと一緒に CPU のプロセッサが外れてしまう恐れがあります。それを避けるため、サーマルペーストの代わりにサーマルテープを使用するか、冷却ファンを外す際に最新の注意を払って取り外しの作業を行うことをお勧めします。)
- ※ CPU ファンの電源ケーブルが、CPU ファンのコネクタに接続されていることを確認してください。これでインストール完了です。
- ※ さらに詳しいインストール手順については、CPU のヒートシンク用ユーザーマニュアルを参照してください。

ステップ 2: メモリモジュールのインストール

本マザーボードは 3 つの DIMM ソケットを搭載し、最高で DDR メモリで 4 バンクまでがサポートしています。DDR スロット 1 は 2 つのバンクを使用し、DDR スロット 2 と 3 は残りの 2 バンクを共用します。サポート対象のメモリ構成については、以下の表を参照してください。BIOS は自動的にメモリのタイプとサイズを検知します。メモリモジュールをインストールするには、メモリを DIMM スロットに差し込みます。DIMM モジュールは、ノッチによって 1 方向にしか差し込めません。メモリサイズはソケットによって異なります。

バッファなしの DDR DIMM での合計のメモリサイズ

DIMM 使用のデバイス	1 DIMM x 64 / x 72	2 DIMMs x 64 / x 72	3 DIMMs x 64 / x 72
64 Mbit(2Mx8x4 バンク)	128 Mバイト	256 Mバイト	256 Mバイト
64 Mbit(1Mx16x4 バンク)	32 Mバイト	64 Mバイト	96 Mバイト
128 Mbit(4Mx8x4 バンク)	256 Mバイト	512 Mバイト	512 Mバイト
128 Mbit(2Mx16x4 バンク)	64 Mバイト	128 Mバイト	196 Mバイト
256 Mbit(8Mx8x4 バンク)	512 Mバイト	1 Gバイト	1 Gバイト
256 Mbit(4Mx16x4 バンク)	128 Mバイト	256 Mバイト	384 Mバイト
512 Mbit(16Mx8x4 バンク)	1 Gバイト	2 Gバイト	2 Gバイト
512 Mbit(8Mx16x4 バンク)	256 Mバイト	512 Mバイト	768 Mバイト

注意: 片面の x16 DDR メモリのデバイスは Intel 845E/G チップセットではサポートされていません。.

DDR1	DDR2	DDR3
S	S	S
D	S	S
D	D	X
D	X	D
S	D	X
S	X	D

D:両面 DIMM S:片面 DIMM

X:使用不可



DDR



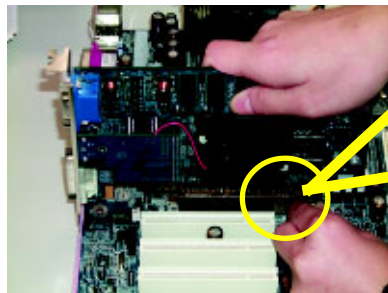
1. DIMM スロットにはノッチがあるため、DIMM メモリモジュールは一方向にしか差し込むことができません。
2. DIMM メモリモジュールを DIMM スロットに垂直に挿入し、奥までしっかりと押し込みます。
3. DIMM スロットの両端にあるプラスチック製のクリップを開いて DIMM モジュールを開きます。DIMM モジュールを取り外す際は、インストールのステップを逆順に実行してください。



- STR/DIMM LED ランプがオンの時は、ソケットから DIMM のインストールまたは取り外しを行わないでください。
- DIMM モジュールには 2 つのノッチがあり、1 方向にしか差し込めない点に注意してください。誤った方向に挿入すると正常にインストールできません。挿入方向を変えてください。

ステップ 3: 拡張カードのインストール

1. 拡張カードをコンピュータにインストールする前に、関連する拡張カードのマニュアルをお読みください。
2. ご使用のコンピュータのケースカバー、必要なネジとスロットのブラケットを外します。
3. 拡張カードをマザーボード上の拡張スロットにしっかりと差し込みます。
4. 拡張カードの金属接触部分がスロットにしっかりと装着されていることを確認します。
5. ネジを元の位置に戻し、拡張カードのスロットブラケットをしっかりと留めます。
6. コンピュータケースのカバーを元に戻してはめます。
7. コンピュータの電源を入れ、必要に応じて BIOS から拡張カードの BIOS ユーティリティをセットアップします。
8. オペレーティングシステムから関連ドライバをインストールします。



AGP カード



AGP カードのインストールまたはアンインストールを行う時は、AGP スロットの端にある小型の白いバーを注意して引いてください。AGP カードをオンボードの AGP スロットに合わせてしっかりと押し込み、AGP カードが小型の白いバーでロックされているか確認してください。

CNR インストール時の注意点

機械的な問題を避けるため、写真のような標準 CNR カードを使用してください。



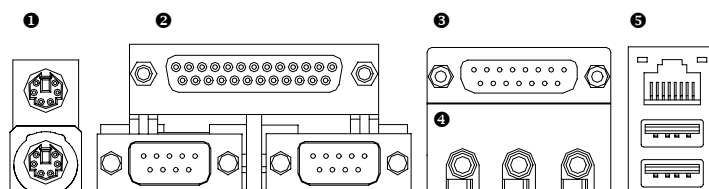
標準 CNR カード

● 注意点:

M/B にハードウェアのオーディオ (CT5880) が搭載されている場合は、ご使用のモデムライザーは自動的に「プライマリ」に設定されています。

ステップ 4: リボンケーブル、キャビネットワイヤー、 および電源の接続

ステップ 4-1 : I/O バックパネルについて



① PS/2 キーボードおよび PS/2 用コネクタ



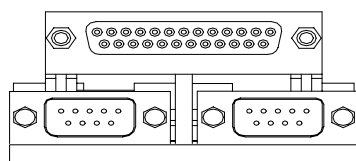
PS/2 マウス用コネクタ
(6ピンのメス)

PS/2 キーボード用コネクタ
(6ピンのメス)

➤このコネクタは標準の PS/2 および PS/2 マウスをサポートします。

② パラレルポートおよびシリアルポート (COMA/COMB)

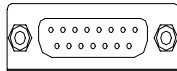
パラレルポート
(25ピンのメス)



COMA COMB
シリアルポート (9ピンのオス)

➤このコネクタは、2つの標準 COM ポートおよび 1つのパラレルポートをサポートしています。プリンタなどのデバイスはパラレルポートに、マウスおよびモデムなどはシリアルポートにそれぞれ接続できます。

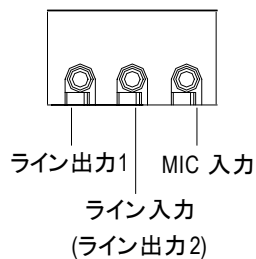
③ ゲーム /MIDI ポート



ジョイスティック/MIDI (15ピンのメス)

➤ このコネクタは、ジョイスティック、MIDI 用キーボードおよびその他のオーディオデバイスをサポートしています。

④ オーディオコネクタ



➤ オンボードの音声ドライバをインストール後、ライン出力ジャックにスピーカーを、MIC 入力ジャックにマイクを接続します。CD-ROM、ウォークマン等のデバイスはライン入力ジャックに接続します。

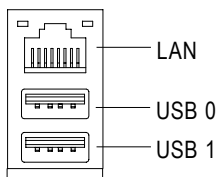
注意: ライン出力 1: ライン出力または SPDIF (SPDIF 出力はデジタル音声を外部スピーカーまたは圧縮された AC3 データを、外部のドルビーデジタルデコーダに出力できます)。SPDIF を利用するには、ライン出力 1 に SPDIF を挿入すると自動的にライン出力 1 を SPDIF 出力にします。

4 スピーカー (Creative 5880 audio のみ) を有効にするには、ライン入力をライン出力 2 にして 2 つめのステレオスピーカー (**) として使用します。



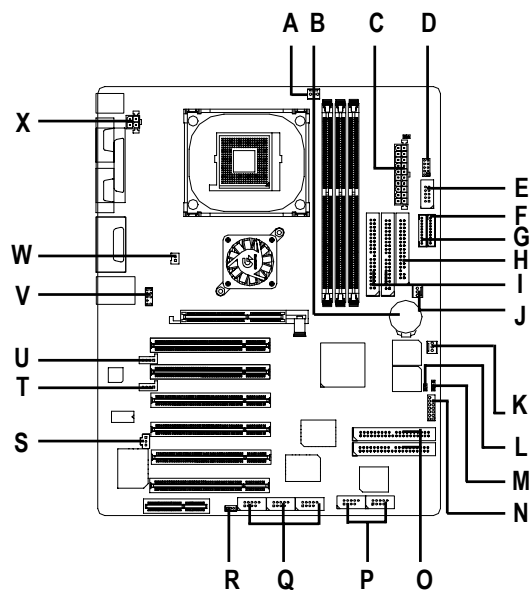
「6 / 4 Channel Audio & SPDIF」のセットアップに関する詳しい情報が必要な場合は、Gigabyte web. <http://www.gigabyte.com.tw> から「8IEX シリーズマニュアル (完全版)」をダウンロードしてください。

⑤ USB/ LAN コネクタ



➤ USB コネクタにご使用のデバイスを接続する前に、USB キーボード、マウス、スキャナ、zip、スピーカーなどを確認してください。また、ご使用の OS (Win 95 と USB サプリメント、Win98、Windows 2000、Windows ME、WinNT と SP 6) が USB コントローラをサポートしているかどうか確認してください。ご使用の OS がコントローラをサポートしていない場合は、OS ベンダーに連絡してパッチまたはドライバのアップグレード提供を受けてください。詳細はご使用の OS またはデバイスの取扱店にお問い合わせください。

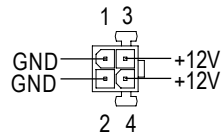
ステップ 4-2 :コネクタとジャンパーの設定について



A) CPU_FAN	M) CLR_CMOS
B) バッテリ	N) F_PANEL
C) ATX	O) IDE3/IDE4 (**)
D) IR/CIR	P) F_USB1/F_USB2
E) SC	Q) 1394-1/1394-2/1394-3 (**)
F) MS (**)	R) WOL(**)
G) SD (**)	S) SPDIF
H) FDD	T) AUX_IN
I) IDE1/IDE2	U) CD_IN
J) 電源_FAN	V) F_AUDIO_I
K) SYS_FAN	W) NB_FAN
L) CI	X) AUX_12V

* GA-8IEX のみ。 ** GA-8IEXP のみ。

X) AUX_12V(+12V 電源コネクタ)



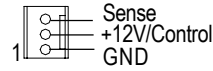
➤ このコネクタ(ATX +12V) はCPU のコア電源のみに使われます。

A) CPU_FAN (CPU ファンコネクタ)



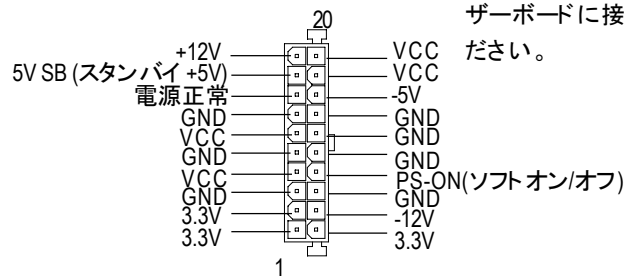
➤ 異常な条件下または過熱による損傷を防ぐためには、CPU クーラーの適切なインストールが非常に重要です。CPU ファンコネクタは、最大で 600mA までの電流をサポートしています。

K) SYS_FAN(システムファンコネクタ) J) PWR_FAN (電源ファンコネクタ)

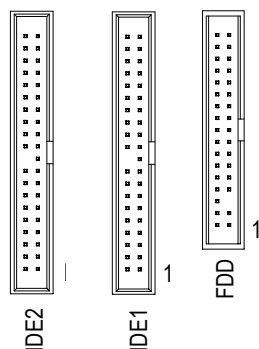


C) ATX (ATX 電源コネクタ)

➤ AC 電源コードは、ATX 電源ケーブルおよびその他の関連デバイスが確実にマザーボードに接続されてからつないでください。

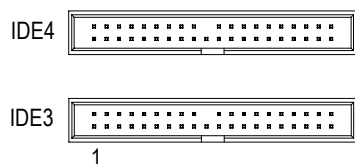


I, H) フロッピー/ IDE1 / IDE2 コネクタ(プライマリ/セカンダリ]



- 重要:
必ず最初にハードディスクを IDE1 に接続し、次に CDRROM を IDE2 に接続してください。

O) IDE3/IDE4 コネクタ (RAID/ATA133、グリーンコネクタ)(**)

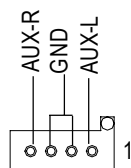


重要:

- 最初にハードディスクを IDE1 に、次に CDRROM を IDE2 に接続してください。
- IDE3 と IDE4 を使用する場合は、BIOS を統一(RAID または ATA133)してください。
次に、適切に操作するために正しいドライバをインストールしてください。詳細は RAID のマニュアルを参照してください。

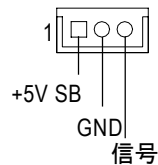
「RAID」のセットアップに関する詳しい情報が必要な場合は、Gigabyte web.
<http://www.gigabyte.com.tw> から 8IEX シリーズマニュアル (完全版)をダウンロードしてください。

T) AUX_IN (AUX 入力コネクタ)

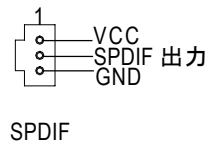


** GA-8IEXP のみ。

R) WOL(Wake on LAN)(**)

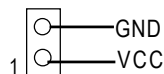


S) SPDIF



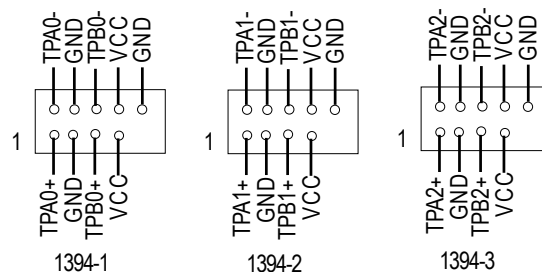
➤ SPDIF 出力は、デジタルオーディオを外部スピーカーまたは圧縮 AC3 データから外部のドルビーデジタルデコーダに出力できます。この機能は、ご使用のステレオシステムにデジタル出力機能がある場合のみ使用できます。

W) NB_FAN



➤ 間違った方向に取り付けると、チップファンは動作しません。それどころか、チップファンが破損することもあります（通常、黒いケーブルはアース用です）

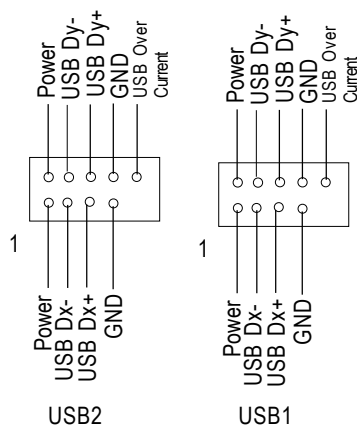
Q) 1394-1/1394-2/1394-3(IEEE1394 コネクタ、グレーコネクタ) (**)



* GA-8IEX のみ。 ** GA-8IEXP のみ。

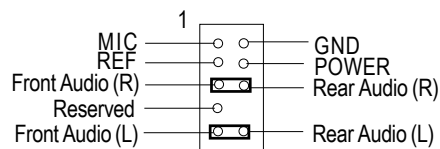
P) F_USB1 / F_USB2(前面 USB コネクタ、イエローコネクタ)

- 前面パネルの USB コネクタの電極に注意してください。前面パネルの USB ケーブルを接続する際に、ピンの割り当てをチェックしてください。



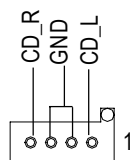
V) F_AUDIO_I (F_AUDIO Connector)

- 前面オーディオコネクタを使用する場合は、ジャンパーの 5-6、9-10 を外してください。

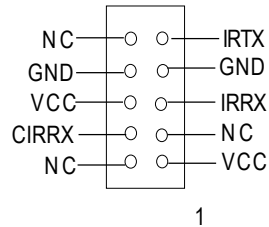


- 前面オーディオヘッダを利用するには筐体に前面オーディオのコネクタが装備されている必要があります。また、ケーブル上のピンの割り当てを確認してマザーボードのヘッダと同じかどうかチェックしてください。購入する筐体が前面オーディオコネクタをサポートしているかどうかを確認するには、販売店に連絡してください。

U) CD_IN (CD オーディオライン入力コネクタ)



D) IR/CIR (IR/CIR)

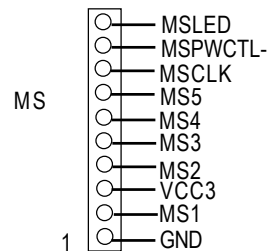
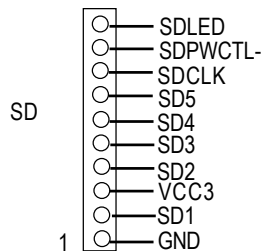
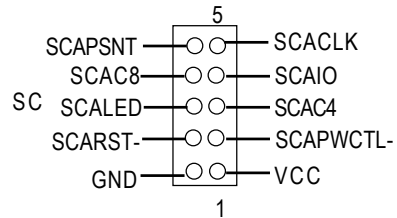


➤ IRデバイスのピン1がコネクタのピンと揃っていることを確認してください。
ボード上のIR/CIR機能を有効にするには、オプションのIR/CIRモジュールを購入する必要があります。詳しくは、最寄りのGiga-Byteの正規代理店にお問い合わせください。
IR機能のみを使用する場合は、IRモジュールをピン1からピン5に接続します。

E) SC (スマートカードインターフェイス、ブラックコネクタ)

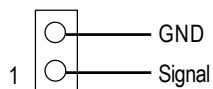
G) SD (MMC) (セキュアデジタルメモ리카ードインターフェイス、レッドエキサイドコネクタ) (**)

F) MS (メモリースティックインターフェイス、ホワイトコネクタ) (**)



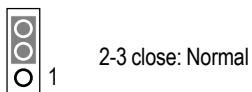
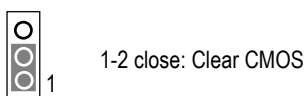
** GA-8IEXP のみ。

L) CI



- この2ピンコネクタを使用して、システムケースが外れた時のアラームを有効 無効にすることができます。

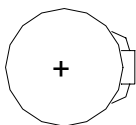
M) CLR_CMOS (CMOS のクリア)



- このジャンパーで CMOS データをデフォルト 値に戻すことができます。

デフォルト 値には、このジャンパーの不正使用を防ぐ「ジャンパー」含まれていません。CMOS をクリアするには、一時的に 1-2 ピンをショートさせます。

B) BATTERY (バッテリー)

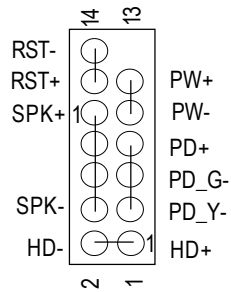


注意

- ❖ バッテリーが正しく交換されていないと、爆発する恐れがあります。
- ❖ 必ず製造元が推奨する種類と同等のものと交換してください。
- ❖ 使用済みのバッテリーは製造元の支持にしたがって処分してください。

田
外
研

N) F_PANEL (2x7 ピンコネクタ)



HD (IDE ハードディスク、 アクティブ LED)	ピン 1: LED 陽極(+) ピン 2: LED 陰極(-)
SPK (スピーカーコネクタ)	ピン 1: VCC(+) ピン 2- ピン 3: NC ピン 4: データ(-)
RST (リセットスイッチ)	開: 通常操作 閉: ハードウェアシステム初期化
PD+/PD_G-/PD_Y-(電源 LED)	ピン 1: LED 陽極(+) ピン 2: LED 陰極(-) ピン 3: LED 陰極(-)
PW (ソフト 電源コネクタ)	開: 通常操作 閉: 電源 入/切

- 電源 LED、PC スピーカーをつなぎ、ケースの前面パネルのスイッチと電源スイッチ等を上記のピン割り当てにしたがって F_PANEL コネクタにリセットしてください。

第3章 BIOS の設定

「BIOS の設定」では、BIOS 設定プログラムの概要を説明します。このプログラムを使用して、ユーザーは基本的なシステム設定を編集することができます。この情報は、バッテリー駆動の CMOS RAM の中にあり、電源オフ状態でも設定情報が保存されています。

設定の開始

コンピュータの電源投入直後に キーを押すと、設定モードに入ることができます。より細かい BIOS 設定が必要な場合は、「詳細 BIOS」設定メニューから設定してください。「詳細 BIOS」設定メニューに入るには、BIOS 画面で <Ctrl+F1> キーを押してください。

ヘルプ情報

メインメニュー

ハイライトされた設定機能に関するオンライン説明は、画面の一番下に表示されます。

ステータスページ設定メニュー / オプションページ設定メニュー

F1 を押すと、ハイライトされた項目で利用可能な選択と適切なキーを説明する小さなヘルプウィンドウが表示されます。ヘルプウィンドウを閉じるには <Esc> キーを押します。

メインメニュー

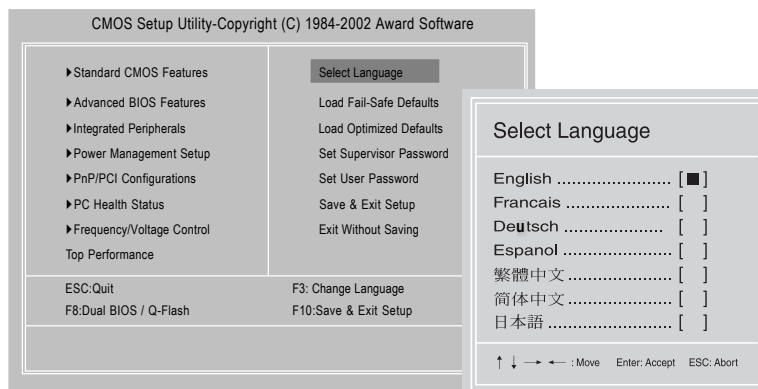
Award BIOS CMOS セットアップ ユーティリティを起動すると、画面にメインメニューが表示されます。メインメニューでは、8つの設定機能と2つの終了オプションを選択できます。矢印キーで項目を選択し、<Enter> キーで確定するかサブメニューを入力します。

デュアル BIOS / Q-Flash ユーティリティ

コンピュータの電源を入れた後、POST (Power On Self Test) の実行中すぐに キーを押すと Award BIOS CMOS セットアップモードに入ることができます。次に <F8> キーを押して DualBIOS/Q-Flash ユーティリティを起動します。「デュアルBIOS/Q-Flash ユーティリティ」に関する詳しい情報が必要な場合は、Gigabyte web. <http://www.gigabyte.com.tw> からマニュアルをダウンロードしてください。

言語の選択

<F3> キーを押すと複数言語を選択できます。利用可能な言語は、英語、日本語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、簡体中国語、繁体中国語など、7 か国語です。



- **CMOS の 標準機能**
本設定ページには、標準の互換 BIOS の全項目が含まれています。
- **BIOS の 詳細機能**
本設定ページには、Award の特殊強化機能項目が含まれています。
- **チップセットの拡張機能**
本設定ページには、チップセットの拡張機能項目がすべて含まれています。
どうしても必要でない限り、チップセットのデフォルト 設定を変えない
ことを推奨します。
- **周辺機器の統合化**
本設定ページには、オンボードの周辺機器機能項目がすべて含まれています。
どうしても必要でない限り、チップセットのデフォルト 設定を変えない
ことを推奨します。上級ユーザーによる使用のみ。
- **電源管理の設定**
本設定ページには、グリーン機能の全項目が含まれています。
どうしても必要でない限り、チップセットのデフォルト 設定を変えない
ことを推奨します。上級ユーザーによる使用のみ。
- **PnP/PCI の構成**
本設定ページには、PCI と PnP ISA リソースの全構成が含まれています。
どうしても必要でない限り、チップセットのデフォルト 設定を変えない
ことを推奨します。上級ユーザーによる使用のみ。
- **PC の環境条件ステータス**
本設定ページでは、システムの温度、電圧、ファン、およびスピードを自動的に
検知します。
- **周波数/ 電圧の制御**
本設定ページでは、CPU のクロックと周波数の比率を管理します。
上級ユーザーによる使用のみ。
- **最高性能のデフォルト 設定**
最高性能のデフォルト 設定は、システムが最大の性能を発揮できる構成のシス
テム/パラメータの値を示します。
- **言語の選択**
本設定ページでは、複数言語の選択を行います。
- **不良保護のデフォルト 設定のロード**
不良保護のデフォルト 設定では、システムが安全な構成で稼働できるシステム
パラメータの値を示します。

- 最適化デフォルト 設定のロード

最適化デフォルト 設定は、システムが最適の性能を発揮する構成のシステムパラメータの値を示します。

- 管理者パスワードの設定

パスワードの変更、設定および無効にする設定を行います。アクセスについて、システムへのアクセスと設定、または設定のみにするかを制限を指定できます。

- ユーザーパスワードの設定

パスワードの変更、設定、または無効にする設定を行います。システムへのアクセスを制限できます。

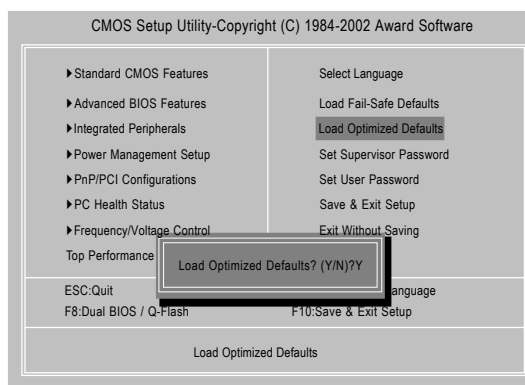
- 保存と終了の設定

CMOS 値の設定を CMOS に保存して設定を終了します。

- 保存せずに終了

変更された全 CMOS 値を破棄して終了します。

最適化デフォルト 設定のロード

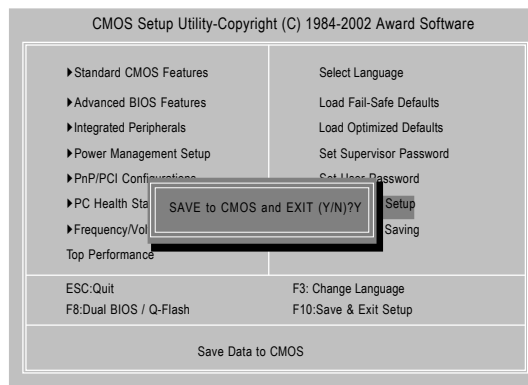


- ☞ 最適化デフォルト 設定のロード

このフィールドでは、システムによって自動的に検知される BIOS とチップセット機能の工場出荷時のデフォルト 設定をロードできます。

最適化設定をロードするには、キーボード上の矢印キーを押してカーソルを移動し、最適化デフォルト 設定をハイライトさせて <enter> キーを押し、この Y」を押してこのオプションをロードします。

保存と終了の設定



☞ BIOS 設定画面を保存して終了するには、F10 キーの次は「Y」を押します。「N」または「ESC」を押すと元の設定画面に戻ります。



B I O S のセットアップに関する詳しい情報が必要な場合は、Gigabyte web サイトから 8IEX シリーズマニュアル (完全版) をダウンロードしてください。

第4章 ドライバのインストール

以下の図は Windows XP (IUCD driver version 2.0)の表示です。

マザーボードに添付のドライバ用 CD を CD-ROM ドライブに挿入します。ドライバ用 CD が自動的に起動してインストールガイドが表示されます。自動的に表示されない時は「マイコンピュータ」の CD-ROM アイコンをダブルクリックし、setup.exe を実行します。

A. Intel 845-E チップセット用ドライバのインストール

最初にこのドライバをインストールしてください。ここでは、Intel チップセット用の Plug-n-Play INF サポートを有効にするドライバユーティリティをインストールします。

B. サウンドドライバのインストール
項目をクリックしてサウンド用ドライバをインストールします。

C. LAN ドライバのインストール
項目をクリックして LAN ドライバをインストールします。



ドライバのインストールに関する詳しい情報が必要な場合は、Gigabyte web サイト <http://www.gigabyte.com.tw> サイトから 8IEXP マニュアルをダウンロードしてください。

添付資料 A: Intel 845-E チップセットドライバのインストール

画面に表示されている設定手順でユーティリティをインストールします。



ドライバを正常にインストールするには、次のインストール手順にしたがってください。



** GA-8IEXP のみ。

Appendix B: Creative CT5880 Sound Driver



Appendix C: Intel 82562 Network Driver

マニュアルで LAN ドライバをインストールする場合は「ドライバ情報」を参照するか、Gigabyte web. <http://www.gigabyte.com.tw> から 8IEXP シリーズマニュアル（完全版）をダウンロードしてください。

